



真野

佐渡鷺流狂言研究会 平成20年度知事表彰受賞 11月10日

佐渡鷺流狂言研究会が知事表彰を受賞しました。鷺流狂言は、大橋流・泉流とともに江戸時代に栄えた狂言三大流派の一つです。しかし、明治維新後に衰退し、現在では佐渡・山口・佐賀の一部地域にしか現存していません。今回の表彰は、



同研究会が発足以来、全国各地で公演し成功を取めてきた功績と、真野中学校狂言クラブの後継者育成への貢献を称えるものです。おめでとうございます。

【佐渡鷺流狂言研究会 略歴】1981(昭和56)年発足。地元竹田での大膳神社例祭能への出演のほか、新潟文化祭能楽大会、東京都国分寺市での武蔵国分寺薪能など、県内外で公演活動を展開中。会長は北村和雄氏。



佐渡市と島根県隠岐郡西ノ島町とをテレビ電話回線で結び、地域の保健・医療について考えるテレビ電話会議現地研修会が行なわれました。住民、医師、医療関係者など、両会場あわせて約100人が参加し、佐渡市会場のトキのむら元気館では、スクリーンで西ノ島町会場の様子を見ながら、離島での医療の現状や課題について相互に意見交換し、保健・医療を通したより良い地域づくりについて話し合いました。

「保健、医療を通した私たちの地域づくり」
2つの島をテレビ電話で結んで意見交換

11月8日



金井中学校の生徒約70名が、校舎敷地内の通学路約150mに350本のサツキを植栽しました。これは、金井生き活き塾が主体となって行った「にいが

た緑の百年物語 花と緑の通学路」事業で、金井中緑化委員会を中心に、自主的に参加した生徒とともに植栽したものです。金井中では、今までも草むしりなど生徒が自主的に参加して活動することに力を入れており、この植栽の後にも、金井生き活き塾が整備している花時計の花の植え替えも手伝いました。プランターや花壇に植えられた花々が尾花商店街から校舎まで続き、通学・通勤時この場所を通る人の目を癒してくれています。

金井

自らの手で通学路に植栽

11月11日



11月1日今年最後の子牛共進会が、翌2日には高千家畜市場が開催されました。子牛共進会の出場頭数は54頭(雌24頭、去勢30頭)で雌の部では徳和の菊池哲也さんの「ひめさかえ」が、去勢の部では岩谷口の山登忠男さんの「紀晴」がみごと最優秀賞に選ばれました。選ばれた2頭は、どちらも抜群の発育状況で上回り、毛づやも良く大変優秀でした。翌日の家畜市場は、仔牛の上場頭数111頭で1頭あたりの平均価格は前回の7月市場比較で35,093円下落し、347,950円での取引となりました。

相川

秋季子牛共進会が開催されました



八幡宮を会場にチューリップ大作戦が行なわれ、八幡・銀杏の会のメンバーをはじめ、八幡小の児童や保護者、地元住民などが、約2万個のチューリップ球根をプランターに植えつけました。プランターは来年の開花を期待しながら佐渡博物館から長木へ抜ける道沿いに並べられる予定です。作業後のいも煮会では、八幡地区特産の八幡いもを使ったいも煮やコロッケ、新メニューのいも田楽が振舞われ、参加者は甘くておいしい八幡いもを味わいました。

佐和田

チューリップ大作戦と八幡いも煮会

11月9日